



人と人、知と知をむすんで、

豊かな看護を創造します。

Unification

看護連携型ユニフィケーション

島根県立中央病院 看護局

島根県立こころの医療センター 看護局

島根県立大学看護栄養学部 看護学科

島根県立中央病院 副院長・看護局長 田根 圭子

国は、地域包括ケアシステムの推進による医療・ケアと生活の一体化を目指しています。また、人々の価値観が多様化するなか、その人の個別的特性やニーズに応じた看護を、生涯を通じて創造的に提供することが求められています。急性期の病院においても、患者さんの退院後の生活を見据えた個別性のある看護を提供するために、知識や技術の習得だけでなく患者のニーズをとらえる力、倫理観や連携・調整の能力など、社会から求められるものに応じて学び続けることが必要です。看護連携型ユニフィケーションによる島根県立大学看護栄養学部との連携を看護職の生涯学習の機会とし、地域から期待される看護師の育成に努めていきたいと思ひます。



島根県立こころの医療センター 看護局長 多久和 かおり

精神疾患を有する患者数は増加し続けています。精神科領域においても地域包括ケアシステムの構築が進められ、看護師に求められるニーズも多様化しています。専門的知識・技術・倫理観に加えて、未来を見据えた保健医療システムにも対応していく力が求められます。当院の教育理念である「専門職業人として科学的・創造的・主体的に質の高い看護を提供する」ために、共に研修することで理論的な視点が加わり、さらなる質の向上が図れると考えます。ユニフィケーションの理念はこの統合にあり、双方のよりよい連携が図れるように努めたいと思ひます。



島根県立大学看護栄養学部 看護学科長 岡安 誠子

少子高齢化や人々の価値の多様化、医学の発展などから社会や人々の要請に応え、看護の場は常に変化を求められています。看護の場に求められる変化は、当然ながら看護職者の教育の場においても共有すべき課題となります。

島根県立中央病院、島根県立こころの医療センター、島根県立大学看護栄養学部看護学科では、平成23年1月に看護連携型ユニフィケーション事業に関する基本協定を締結した後、大学における講義の講師や演習におけるアドバイザーとして臨床看護師の皆様に教育へ参画いただくと共に、院内の学習会の講師や臨床研修などで教員を派遣して参りました。臨床看護師の皆様に講師やアドバイザーとして看護現場の実情や実践知をお伝えいただき、学生たちは大いに刺激を受け学んでいます。

今後も、臨床の場と教育の場が繋がることで現在の課題、将来の課題を共有し、島根県立大学看護栄養学部看護学科として看護の創造的発展に寄与して参ります。



背景

看護学は実践の学問であり、教育と看護実践は不可分の関係にあります。教員が臨床から離れて教育に従事しているため、臨床と教育の乖離を生じ易くなっています。一方、医療を取り巻く環境が目まぐるしく変化していく中で、質の高い看護実践や情報提供など社会の人々の看護職に対する期待が高まっています。殊に、新卒者の看護実践能力の向上が重要課題となっています。そのようななかで、臨床と教育の乖離を解消し、看護教育ならびに臨床看護の質の向上を図っていくために、看護の実践と教育・研究の連携がますます重要なこととなっています。

臨床と教育の乖離という問題に対して、米国の看護教育における取り組みを発端に、1980年代以後、わが国においてユニフィケーションという言葉が現れ始めました。ユニフィケーションの用語の意味は、本来、統合・統一・単一化です。異なる組織が手をつなぎ、目的とする看護の質の向上に取り組んでいくものです。日本においても、高知女子大学（現 高知県立大学）および高知医療センター、茨木県立医療大学および附属病院をはじめとして実施され、広がりを見せています。

目的

島根県立病院と島根県立大学看護栄養学部が協働することで、看護の実践・教育・研究が有機的に連携し、看護ケアの質の向上・看護実践教育の質の向上、臨床に根差し看護共同研究を進展させ、両施設・機関の機能の向上を図ります。

期待される効果

活動は、これまで臨地実習が中心であった両者の関わりを、現場にある様々なリアリティをもった問題に関わる意見交換にまで高め、学び合うことが期待できます。期待される効果として、看護ケアおよび実習の質の向上、臨床スタッフの継続教育の充実、看護教育と臨地実習のズレの解消、臨床に即した教育の貢献につながると考えています。

具体的な活動

1. 看護の学習会に関すること

臨床現場で課題となっている事柄や事例について、臨床と教育の場が連携して、看護職に対する学習会や事例検討会、看護学生に対する学習会を開催していきます。互いに学び合い、看護実践能力および看護教育の質の向上に活かします。

2. 患者や家族のケアに関すること

実践現場と教育機関が連携して、質の高い看護サービスの提供や看護技術のエビデンスを蓄積していく必要があります。相互に話し合い、企画・立案した看護ケアを、看護教員も患者さんや家族に対して病棟や外来で実践していきます。

3. 看護教育に関すること

看護教育の中で、看護実践能力の育成に関わるプログラム等において、臨床と教育の場が連携して、エビデンスに基づく最新の看護方法を教授し、看護実践教育の質の向上を図ります。

4. 看護研究に関すること

臨床に根差した看護研究を共同で実施していきます。



現職者の教育への参画風景



ユニフィケーション研修会風景



病棟学習会風景

 Unification

Shimane Prefectural Central Hospital



よりよい
看護実践を
めざして

Shimane Prefectural Psychiatric Medical Center



The University of Shimane

更新：2025年4月